



特別展・寄贈資料展「日高の翠の石」開催中です！

博物館の寄贈資料などの中から、テーマをしぼって展示します。

ただいま、日高山脈博物館の2階特別展示室にて開催しています。テーマは「日高の翠の石ーアオトラと日高ヒスイー」です。

主に寄贈いただいた資料の展示になっていますが、そのなかでも、テーマをしぼって展示を開催しています。

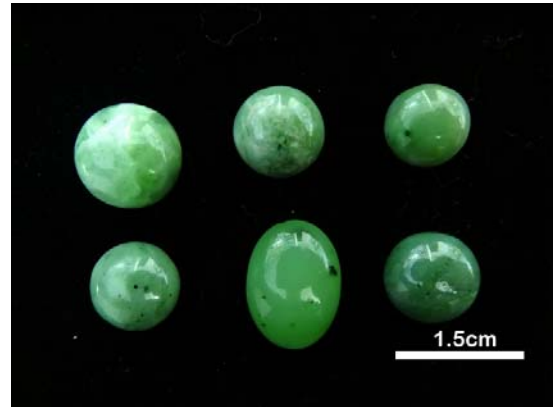
1960年代に、日高ヒスイを探索するに当たり、「日高には緑の石が多いから、ヒスイがあるに違いない」と考えられたほど、日高には緑色の石が多いのです。その中でも、特に美しいであろう、アオトラと日高ヒスイにスポットを当てました。

アオトラは、縄文時代の遺跡から発見される石材としても有名で、現代でも庭石などとしても重宝されています。一方、日高ヒスイも、縄文時代の遺跡から装飾品として発見されるほか、現代では、硬玉、軟玉に次いで、「第3のヒスイ」といわれ、宝石として重宝されています。

今回の展示では、日高で産出され、縄文時代から現代でも重宝されてきた、大変貴重なアオトラと日高ヒスイの共通点や、でき方などを掘り下げた特別展示を行なっています。日高ヒスイの研究は、近年、当博物館で行なっており、学会発表も行なうなど、成果も着実に蓄積されてきています。それらの一端も含めた展示となっておりますので、ぜひご覧になってください。

なお、特別展示は、3月28日までとなっております。開館時間は10～15時、月曜日が休館日ですのでご注意ください。

写真は、展示物の一部です。特別展示以外の資料も控えていますので、ご覧になりたい場合は、学芸員までお申し出ください。



日高ヒスイ原石の自然面



日高ヒスイ原石の切断面

